



京都市の歴史的建造物

～歴史的町並みを保全するための建造物指定制度～

＜平成 17 年度～令和 2 年度＞

(ホームページ用)

景 観 重 要 建 造 物

歴史的風致形成建造物(1期)

京都市の歴史的建造物 ～歴史的町並みを保全するための建造物指定制度～

京都市では、京都の歴史的な町並みを守るため、寺社や京町家をはじめとする伝統的な建造物等を景観重要建造物や歴史的風致形成建造物に指定し、それらを適正に維持管理するための修理・修景等に係る補助を行っています。



景観重要建造物（景観法に基づく指定）

景観計画区域内において、地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、地域の景観形成に重要なものを指定するものです。

指定対象建造物

- 町家、寺社、近代建築など良好な景観形成に重要な建造物（国宝、重要文化財に指定された建造物を除く）
- 道路などから容易に望見されるもの
- 将来にわたり維持・保全に努めていただける建造物



歴史的風致形成建造物（歴史まちづくり法に基づく指定）

歴史まちづくり法に基づく「京都市歴史的風致維持向上計画」に定める重点区域内の歴史的な建造物であって、京都の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のために保全を図る必要があると認められるものを指定するものです。

指定対象建造物

- 町家、寺社、近代建築など京都の歴史的風致を形成する建造物（国宝、重要文化財に指定された建造物及び伝建地区内の建造物を除く）
- 将来にわたり保全に努めていただける建造物

【京都市の維持向上すべき歴史的風致】

祈り 祈りと信仰のまち京都

身近な祈りの場である寺社で奉納される芸能や、世界遺産をはじめとする寺社に参詣する人々とそれを迎える門前町の人々の営みが受け継がれています。

ハレ 暮らしに息づくハレとケのまち京都

四季を彩る祭りや年中行事、京町家における暮らしの知恵など暮らしに息づくハレとケの営みが受け継がれています。

商い ものづくり・商い・もてなしのまち京都

伝統を受け継いだ焼物や織物などのものづくり、問屋、市場などにおける商い、花街における舞・踊りなどのもてなしの営みが受け継がれています。

文化 文化・芸術のまち京都

能・狂言や茶の湯、生け花 美術などの文化・芸術活動、そしてそれを支える道具商や和菓子づくりなど様々な文化・芸術・創作活動が受け継がれています。

進取 伝統と進取の気風の地

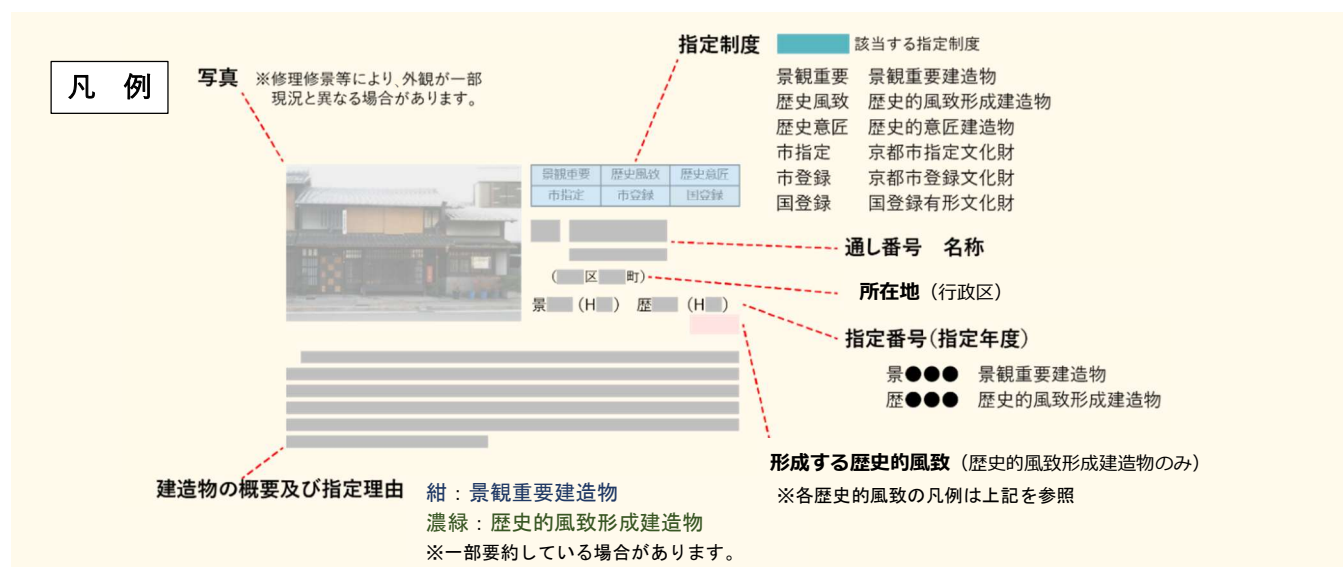
琵琶湖疏水における水辺の活動や近代の商業活動の継承など、明治以降の近代化の推進による伝統と進取の気風に培われた営みが受け継がれています。

街道 京の街道とその周辺

鞍馬や貴船、大原、山科盆地など京と密接に関わってきた旧街道沿いにおける、伝統に培われた祭りや日々の暮らし、生業が受け継がれています。

水土緑 千年の都を育む水・土・緑

周辺の山林や河川、洛西用水や洛東用水などの農業用水、これらの水により潤される農地における祭礼、山々や農地での生業が受け継がれています。



※ 令和2年度末までの指定建造物のうち、HP公開に同意を頂いたものを掲載しています。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

1 旧吉田邸

(中京区)
景001 (H17)
歴2-120 (R8)

ハレ 水土緑



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

3 山中油店

(上京区)
景003 (H17) 歴009 (H21)
商い ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

4 瀬川邸

(上京区)
景004 (H18)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

6 中村邸 (旧中村万治郎邸)

(上京区)
景006 (H18)

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

7 生谷邸 (生谷家住宅主屋)

(上京区)
景007 (H18) 歴034 (H24)
ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

8 木村邸

(木村不動産鑑定事務所)
(上京区)
景008 (H18)

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

10 小川邸 (文齋)

(東山区)
景010 (H18)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

11 山本邸 (仁庵)

(上京区)
景011 (H18) 歴049 (H25)
文化 ハレ



江戸期から室町通と共に高級織物を扱う、京都でも富裕な大商人が集まり殷賑を誇った新町通の中でも、典型的な本二階格子造りの建造物の外観が、町家の生活様式を残しており、歴史的な町並み景観を残す新町通における重要な景観資源として、都心部の代表的な通り景観を形成している建造物である。

祇園祭「北観音山」の山鉾町に位置するかつて呉服の白生地製造卸業を営んでいた吉田家の町家で、新町通の歴史的な町並みを形成する。呉服商としての歴史と町家の暮らしを現代に継承しつつ、現在も祇園祭宵山の時期に屏風飾りを行う貴重な建造物である。

山中油店はこの地域にあって虫籠造店舗様式の建造物として代表的なものであり、通りに面して配された池のある庭などは、この通りの景観に欠くことのできないものである。

現在でも町家をよく残す下立売通にあって、江戸時代から油売商として営みを続ける。商家としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。

主屋が幕末期のものとして推測され、両袖の卯建や竹で編まれた木柵など、京都では見られない貴重な意匠を有し、加えて内部には7つかまどが残っているなど、2階建ての土蔵も含めて、京都でも数少ない江戸時代の景観を良好に継承する貴重な建造物である。

主屋が明治後期の表屋造りの典型例として貴重であり、加えて1、2階の座敷廻りには吟味された部材による丁寧な造作や良質な意匠が維持されており、2階建ての表蔵も含めて、西陣の商屋の景観を良好に継承する貴重な建造物である。

主屋が江戸末期の町家として、内外ともに形態意匠がよく保存されており、上手(北側)に設置される板塀とともに、通り景観を構成する重要な要素となる建造物である。

室町時代から当地に在ったと伝わる生谷家が江戸末から明治10年頃に建築した町家で、上京室町における商家としての歴史と町家の伝統を、歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都でも数少ない江戸時代の景観を良好に継承する貴重な建造物で、正面の構えは、西陣の商家の景観を良好に継承する貴重な建造物である。

主屋と土蔵は江戸時代後期の建造物として貴重であり、特に表屋は、五条坂の良好な通り景観を構成するうえで重要である。また、良好に保全されたシュロ竹の植えられた中庭や緑豊かな座敷庭等が、建造物と相まって風情を醸し出し、建造物の価値を高めている。加えて、五条坂の歴史を今に伝える登り窯は、地域の歴史を伝える建造物として、地域の景観を良好に継承するものである。

大規模な庭園を有する和風邸宅の中に、テラスに見られる洋調のしつらえや、洋間に設けられた出窓照明など、京都でも数少ない近代和風建築として貴重であり、1辺が30m以上に及ぶ塀、門、駒寄せ及び土蔵は、通り景観の形成に寄与している。また、塀越しに覗く植栽は、地域の景観を豊かにしている。

大正期から室町通で白生地屋を営んでいた山本家が住居兼迎賓施設として建築した和風住宅で、伝統的な中に革新的なものを取り入れる昭和初期の京都の気風と暮らしの場としての市民の生活文化を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

12 西島邸

(中京区)
景012 (H18)

表屋、主屋は明治前期の典型的な表屋造の形態で、建築当時の姿を留める建造物本体に加え、釜戸(クド)等の設備が良好に維持された建造物であり、土蔵は京都でも数少ない元治の大火以前の建造物として貴重である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

13 林邸

(上京区)
景013 (H18) 歴014 (H22)

ハレ 商い

茶屋当時の姿が良く残され、随所に見られる凝った造作は非常に貴重なものである。また、釜戸や走り等の設備も含めて、保存の状態は極めて良好で、復元された外観意匠と共に、上七軒の歴史を今に伝え、地域の景観を良好に継承するものである。

上七軒に建つ元お茶屋の町家で、花街上七軒のお茶屋と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

14 勝間邸

(上京区)
景014 (H18)

主屋と土蔵は内外共に良好に維持された質の高い建造物で、京都を代表する近代建築である同志社の学舎と共に、近代の風景を烏丸通沿いに残す貴重な建造物である。また、建造物と同様に良好に維持された庭は、建造物の価値を高めるだけでなく、堀越しに伺える植栽が建造物と共に、良好な通り景観の形成に寄与している。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

15 林孝太郎造酢

(京西陣孝太郎の酢)
(上京区)
景015 (H18)

格子で覆われた外観は通りの景観を良好に形成する重要な要素である。また、歴史的な建造物としての外観を維持しながらも、製造業として要求される現代的な店舗機能を満たすように改修された例としても評価できる。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

16 富田屋 とんだや (西陣くらしの美術館)

(上京区)
景016 (H18)

大店の形態を有する表屋造の建造物として貴重であり、表となる大宮通側の意匠は南側の通りに面した長大な羽目板の高塀とともに、西陣の商家の景観を良好に継承する建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

17 岡田邸 (岡平)

(伏見区)
景017 (H18)

当建造物は内外共に良好に維持された質の高い建造物で、伏見の歴史を今に伝える貴重な建造物である。また、土蔵を含めた外観は通りの景観を形成するうえで、重要である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

18 澤井醤油本店

(上京区)
景18 (H18) 歴2-111 (R7)

ハレ

主屋は中長者町通に面して良好な景観を形成し、建築当時と変わらず使用されていることも含め、歴史を継承する建造物として貴重である。加えて、新町通に面した主屋、別棟と3棟の土蔵が連なる景観は、特徴のある通り景観を形成している。

明治初期の創業以来、昔ながらの手法、道具を使った醤油造りを続けてきた商家の町家で、京都における町家での醤油づくりの歴史と伝統を現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

19 旧林家住宅

(北区)
景019 (H18)

主屋は、旧紫竹村における農家住宅の特徴を平面構成によく留めると同時に、市中の町家と共通する構造形式を有するという意味で、農家と町家の特徴を併せ持つ遺構として注目され、貴重である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

20 下村邸

(伏見区)
景020 (H18)

江戸後期から明治前期にかけての変遷を伺うことが出来る農家型町家の典型例として貴重であり、2棟の土蔵とはなれを含めて門前の景観を良好に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

21 胡乱座 (旧長岡家住宅)

(下京区)
景021 (H19) 歴008 (H21)

ハレ

主屋が明治後期の町家の典型的な例として貴重であり、内外部とも当初の状態が良く保存されている。棟札により建築年と施工者を特定できることは高く評価でき、丁寧な造作などが維持されていることから、離れを含めて、町家の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。

大工棟梁の元住居で、現在宿泊施設として使われている町家である。町家を支えてきた職人の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

22 梶田邸

(上京区)
景022 (H19) 歴048 (H25)

ハレ 商い

主屋は明治中期の西陣地区における表屋造りの典型的な例として貴重であり、加えて、1、2階の座敷廻りには吟味された部材による丁寧な造作や良質な意匠が維持されており、2階建ての衣装蔵および雑物蔵、高塀を含めて、西陣の商屋の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。

西陣において帯の製造卸業を営む出機であった梶田家の町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

23 芝田邸 (大極殿本舗六角店)

(中京区)
景023 (H19)

主屋は江戸後期における表屋造りの町家の典型的な例として貴重であり、一部改装されているものの建築当初の町家の形態が残されており、座敷廻りを中心に、吟味された部材による丁寧な造作、蔵を含めて、中京の商屋の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

24 藤田邸

(上京区)
景024 (H19)

主屋東棟は江戸後期の町家の典型例として貴重であり、また、主屋西棟も東棟に比べて歴史は浅いものの、軒数の少ない大塀造型の形態を有し、築200年の東棟と見事に融合している。加えて、座敷廻りには、吟味された部材による丁寧な造作や良質な意匠が維持されており、茶室、蔵および物置を含めて、西陣の商家の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

26 山口家住宅 苔香居

(西京区)
景026 (H19)

農家建の旧家として豪壮で風格ある佇まいを残しており、歴史も古く貴重で、長屋門、表蔵、蔵、茶室、待合および離れを含め、農村集落が残る西京の景観を良好に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

27 F邸

(上京区)
景027 (H21)

虫籠窓や出格子で構成される外観は、通りの景観を良好に形成する重要な要素である。また、歴史的な建造物としての外観を維持しながらも、現代的な住宅や診療所の機能を満たすように改修された例としても評価できる。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

29 吉田邸

(下京区)
景029 (H21) 歴002 (H21)

文化 ハレ

幕末から明治にかけて築造された町家の例として貴重であり、特長のある町家の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。

寺町通で江戸期創業の茶道具商・吉田宗兵衛商店を営む吉田家の住居である職住近接の町家で、お茶の文化に大きくかわり、茶道を支えてきた。御幸町通を挟んで西側に建つ旧番組小学校の正門、石垣と共に歴史的な町並みを形成する。茶の湯の文化と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

30 鳥彌三

(下京区)
景030 (H21) 歴003 (H21)
水土緑 商い

京都鴨川河畔の料亭建築を代表する事例としての歴史的な価値が高く、時代とともに生き延びてきた建造物であり、町家の意匠を良好に継承する貴重な建造物である。

鴨川河畔に建つ鳥料理専門の老舗料亭で、夏には床を出して客をもてなす。創建当時から続く、料亭としてのもてなしと水辺の遊興を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

31 松本酒造

(伏見区)
景031 (H21) 歴004 (H21)
水土緑

明治、大正、昭和の建物があり、洋風レンガ造の建物、酒蔵建築と多彩である。伏見の酒蔵の中ではきわめて特色ある建築群を形成している。東高瀬川から見るレンガ造とそれに続く酒蔵群は伏見の代表的景観を形成している。

伏見旧市街地の西端、東高瀬川沿いに位置する寛政3年創業の松本酒造の酒蔵群で、大正期からこの地で営み続ける。伏見の酒造りの伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

32 黄桜酒造

(伏見区)
歴005 (H21)
水土緑

明治期に物流の拠点である伏見に建築された蔵として、当時の雰囲気を残しており、現役の酒造施設として伏見の酒造りの伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

33 月桂冠旧本社

(伏見区)
歴006 (H21)
水土緑

大正期に、当時繁栄しつつある酒造業の拠点として建築され、当時の雰囲気を残し、伏見の魅力を伝える拠点として伏見の酒造りの伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

34 上七軒歌舞練場

(上京区)
歴007 (H21)
商い

京都では最も歴史の深い花街上七軒の中で、今なおその中心的存在である。北野天満宮との関わりが深く、昭和27年(1952)に北野天満宮千五十年大万燈会を記念して上七軒歌舞練場を舞台に北野をどりが創設され、現在でも毎年、春に開催されている。花街の伝統と文化を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

35 梅辻邸

(北区)
景032 (H22) 歴010 (H22)
祈り ハレ

上賀茂の社家の外観の特徴を色濃く残している。また、上賀茂の通り景観の特徴である土塀を残しており、連続する通り景観の形成に非常に重要である。

古代からの古い歴史をもつ上賀茂神社と関係が深い「賀茂七家」と呼ばれる社家の一つで、社家の歴史と伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

36 楽吉左衛門

(上京区)
景033 (H22) 歴011 (H22)
文化

町家の構えを基本としながら、意匠、材料、技術に優れた数寄屋普請を多く取り入れられている。また、通りに面して表門・高塀が並び、その奥には庭を配し緑をのぞかせるなど地域の通り景観を良好に形成している重要な建造物である。

代々継承してきた千家十職である茶碗師楽吉左衛門の樂焼の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

37 加藤邸(プライダルフォ

トスタジオ・クレール)
(上京区)
景034 (H22) 歴012 (H22)
ハレ 商い

主屋は大正時代の機屋としてほぼ当時のままの形態を維持しており、状態も良く、離れも含めて西陣地区の景観を良好に継承する貴重な建造物である。

機屋として建てられた織屋建ての町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

38 江戸絵皿絵解き館 (創芸の会) (上京区)

景035 (H22) 歴013 (H22)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

39 帯屋捨松

(上京区)

景036 (H22) 歴015 (H22)

商い

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

40 松居邸 (旧杉尾家)

(上京区)

景037 (H22) 歴016 (H22)

ハレ

商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

41 大島邸

(伏見区)

景038 (H22) 歴017 (H22)

街道

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

42 月の桂・増田徳兵衛商店

(伏見区)

景039 (H22)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

43 田中邸 (大原茶屋)

(左京区)

景040 (H22)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

44 祇園甲部歌舞練場

(東山区)

歴018 (H22)

商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

45 丹波屋

(上京区)

景041 (H23) 歴019 (H23)

商い

ハレ

西陣地区における表屋造りの典型的な例として貴重であり、連続する通り景観の形成に非常に重要である。

大正後期に糸関係の貿易商により建てられた町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

主屋(東棟)は、明治初期に建てられ、内部の改修は見られるが、状態もよく、意匠性に富んだ建造物として歴史的価値は高く、増築部分も含め西陣地区の通り景観の要となる貴重な建造物である。

安政年間に創業した西陣織の織元が明治後期に建築した町家で、以来この地で営みを続ける。西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

主屋は昭和初期の京町家の表構えを維持しており、一部の改修は見られるが、状態も良く、西陣地区の景観を良好に継承する貴重な建造物である。

かつて丸帯製造を営んでいた町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

主屋は、江戸時代末期に建てられ、一部の改修は見られるが、状態も良く、伏見の街道に面した特徴を持つ数少ない町家として、この地域の時代性を今に伝える貴重な存在として歴史的価値は高く、伏見地区の京町通景観の要となる貴重な建造物である。

伏見の旧街道沿いに建つ町家で、商業都市としての歴史を持つ伏見地域の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

伏見の酒屋、酒蔵を代表する建築の1つとして歴史的な価値は高く、時代とともに生き延びてきた建造物であり、鳥羽街道沿いの歴史的な町並みを形成する重要な建造物群である。

大原三千院門前に残る茅葺き屋根の木造平屋建て農家住宅として貴重な建物であり、シンボリックな存在になりつつある。明治11年に西向きの建物を45度曳家し、入母屋造茅葺きの四周に棧瓦を巡らす改修をした。前面道路は大原三千院へと続く参詣道であり、手入れの行き届いた茅葺き屋根は多くの参拝客の目を和ませ、地域の景観を形成する上で重要である。

花街祇園甲部の中心的存在で、春には「都をどり」、秋には「温習会」などが催され、伝統的な舞踊、華道、茶道などの技芸を伝える場として現在も営みを続ける。花街の伝統と文化を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

一部の改修は見られるが、京町家の外観意匠を良好に保持しており、西陣の景観の形成に重要である。

西陣で創業200年の組紐屋が今も営みを続ける町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

46 キンシ正宗堀野記念館

(旧堀野家本宅)
(中京区)

景042 (H23) 歴020 (H23)

商い ハレ

典型的な町家の意匠を残しており、間口も広く、御所周辺の通り景観の形成に重要である。

天明元年にキンシ正宗を創業した堀野家の造り酒屋で、現在は記念館として酒造りの歴史を伝える町家である。代々受け継ぐ酒造りの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

47 吉川邸

(山科区)

景043 (H23)

柳辻の数少なくなった農家住宅で、その外観の特徴をよく残しており、柳辻の景観の形成に重要である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

48 山ばな平八茶屋

(左京区)

景044 (H23)

街道沿いに立地する町家の外観意匠の特徴をよく残しており、若狭街道の通り景観の形成に重要である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

49 きんせ旅館

(下京区)

歴021 (H23)

商い ハレ

島原の元揚屋を昭和初期に旅館に改修した町家で、花街・島原の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

50 並河靖之七宝記念館

(東山区)

景045 (H23) 歴022 (H23)

進取 街道

表構えの千本格子や虫籠窓、駒寄を備え、高塀を巡らせた外観意匠を良好に保持しており、白川周辺の景観の形成に重要である。

七宝家、並河靖之の邸宅・工房として明治27年に建てられた町家で、主屋の室内からは琵琶湖疏水を引き入れた池庭を見渡せるように、三面廻り縁にガラス障子を張り巡らせている。現在は記念館として公開しており、七宝の芸術と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

51 伏原邸

(中京区)

景046 (H23) 歴023 (H23)

ハレ 商い

医院として使用されていたことから、特徴ある外観であるが、伝統的な外観意匠を良好に保持しており職住共存地区における景観の形成に重要である。

呉服商として建てられた町家で、現在は住居兼ギャラリーとして使用する。町家としての特徴を呉服商、医院、ギャラリーと営みを変化させながら今なお歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

52 官休庵

(上京区)

景047 (H23) 歴024 (H23)

文化

歴代の創意工夫を重ね伝来した数寄屋建築の意匠を残しており、間口広く、武者小路通の景観の形成に重要である。

小川通周辺に位置する茶道三千家の一つ、武者小路千家の家元で、茶道家元の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

53 O邸 (株式会社清壽)

(中京区)

景048 (H23) 歴025 (H23)

ハレ

町家の外観意匠を良好に保持しており、木屋町通の通り景観の形成に重要である。

京都の五花街の一つである先斗町周辺に建つ元酒屋の本宅である町家で、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

54 長谷川邸

(中京区)
景049 (H23) 歴026 (H23)
商い ハレ

往時のお茶屋の外観意匠を良好に残しており、先斗町の景観の形成に重要である。

京都の五花街の一つである先斗町に建つ元お茶屋の町家で、お茶屋と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

55 田中邸

(右京区)
景050 (H23)

昭和初期の近代和風建築の外観意匠を良好に保持しており、下嵯峨の景観の形成に重要である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

56 あぶり餅一和

(一文字屋和輔)
(北区)
景051 (H23)

門前の茶店としての外観意匠の特徴を色濃く残しており、今宮神社東門へと続く参詣道の通り景観の形成に重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

57 せいせい軒 聲々軒

(右京区)
景052 (H23)

嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区に近接し、山裾における茅葺の農家風の意匠を良く残しており、背後の曼荼羅山や前面の田畑とともに奥嵯峨の田園の景観形成に重要である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

58 神戸邸

(中京区)
歴027 (H23)

京都の五花街の一つである先斗町に建つ元お茶屋の町家で、お茶屋と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

60 宮川

(中京区)
歴029 (H23)

京都の五花街の一つである先斗町に建つお茶屋の町家で、お茶屋の伝統と鴨川から望む町家の風情を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

61 革島医院

(中京区)
景053 (H24) 歴030 (H24)
進取

職住共存地区にある昭和初期の木造の近代洋風建築であり、建設当時は、勾配屋根に載るフランス瓦が銅板で葺かれた円錐の屋根とともに際立った外観を示していたと思える。医院への用途とあいまって、近代の新しい科学への進取な気風を感じさせ、地域のシンボルとして存在してきた。建替が進む中においても重要な景観要素として周囲と調和し、優れた景観を作っている。

京都の中心地三条通周辺において、外科専門の開業医の建築として日本の工務店の手により建てられた近代洋風建築であり、伝統と進取の気風の地の歴史的風致を形成しており重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

62 村西邸

(中京区)
景054 (H24) 歴031 (H24)
ハレ

職住共存地区における昭和初期の大塀造りの仕舞屋で、大塀造りの歴史的な様式を良好に残しており、間口も広く、開発が進む蛸薬師通における景観の形成に重要である。

縮緬・生糸の卸商の番頭を務めていた村西清次郎の居宅として建てられた職住共存地区における仕舞屋の町家で、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

63 片岡邸

(上京区)
景055 (H24) 歴032 (H24)
ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

64 遠藤邸

(下京区)
景056 (H24) 歴033 (H24)
ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

65 小西邸

(伏見区)
景057 (H24)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

66 北尾邸

(上京区)
歴035 (H24)
ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

67 七味六兵衛

(上京区)
景058 (H24) 歴036 (H24)
商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

68 北岡邸

(上京区)
景059 (H24) 歴037 (H24)
ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

69 田中邸 (近江屋吉兵衛)

(下京区)
景060 (H24) 歴038 (H24)
ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

70 千歳邸

(伏見区)
景061 (H24) 歴039 (H24)
水土緑 ハレ

西陣の東端に位置する大正末期の町家で、外観意匠を良く残しており、小川通にいくつか残る町家とともに、通りの景観の形成に重要な建物である。

かつて回り呉服と呼ばれる呉服商を営んでいた片岡家の職住共存の町家で、呉服商としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

下京における明治後期の表屋造りの町家としての外観意匠を良く残しており、間口も広く、古くから開け、今なお、各時代の町家が残る当該地域の景観の形成に重要な建物である。

かつて呉服・古着商を営んでいた遠藤家の表屋造りの町家で、商家としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

伏見の街道筋の町家で、昭和期に改変は行われたものの、現在は地域様式をよく継承する形となっている。間口も広く、T字路のアイストップともなっており、本町通沿いの景観の形成に重要な建物である。

西陣の帯屋が建築した町家で、西陣千両ヶ辻界わいにおける帯屋の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

明治初期の洛中のはずれに位置する町家型農家で、外観意匠を良好に保持しており、御前通の景観の形成に重要な建物である。

当地に代々続く農家の町家で、七味屋として今も営みを続ける。農家の歴史やその後の営みである七味屋の伝統と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

様々な時代の小～中規模の町家が残る榎木町通りに位置する明治中期の町家としての外観意匠をよく残しており、地域の標準的な間口を持つ町家として指標性を持ち、榎木町通の景観の形成に重要な建物である。

洛中の町地における明治中期の町家で、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

明治初期の町家の住宅建築の外観意匠を良好に保持しており、尚徳学区の景観の形成に重要な建物である。

大工棟梁「近江屋吉兵衛」の屋号を継ぐ田中家が建築し、居住した町家で、京における大工の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

明治初期の豪快な町家建築の外観意匠を良好に保持しており、運河に面し、交通の要衝地であった伏見の景観の形成に重要な建物である。

船運の地である伏見において材木商として活躍した千歳家の町家で、運河沿いの材木商の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

72 能面工房「面司おもかげ」(中村邸)

(東山区)

歴041 (H24)

文化 ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



74 山本邸

(伏見区)

景062 (H24) 歴043 (H24)

街道 ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



75 木村邸 (木村利左衛門)

(上京区)

景063 (H24) 歴044 (H24)

進取 ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



76 さんみこうあん 三味洪庵

(東山区)

歴045 (H24)

商い ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



77 N邸

(下京区)

歴046 (H24)

ハレ 商い

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



78 芦田邸

(下京区)

景064 (H25) 歴047 (H25)

ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



79 布屋

(上京区)

歴050 (H25)

ハレ

景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録



80 楠

(中京区)

歴051 (H25)

商い ハレ

明治期以後、古美術商街として発展した新門前通の町家で、現在は能面製作の場として利用される。古美術商街としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

質屋の商いを外観によくあらわし、また、伏見の町家としての様式もよく残しており、往時の面影が失われつつある両替町通の景観の形成に重要な建物である。

城下町伏見に日本最古の銀座が置かれた両替町通において、茨木屋（いばぎや）と号して金融業・材木商を営んでいた山本家の町家で、商家の造りと町家の伝統を現代に継承する重要な建造物である。

昭和初期の高堀付近代和風住宅の外観意匠を良好に保持している。間口も広く、建替え等が進む日暮通において景観の形成に重要な建造物である。

江戸中期ごろ京に移ったと伝わる木村家が建築した大堀造りの町家で、伝統的な中に革新的なものを取り入れる昭和初期の京都の気風と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

昆布問屋として建てられた町家で、昭和初期の商家の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

島原における茶屋様式を残す数少ない町家で、花街・島原の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

昭和初期の町家の外観意匠を良好に保持しており、地域の景観の記憶として重要な建物である。

かつて古美術界で活躍した服部七兵衛が建築したと伝わる町家で、その後呉服商の住まいとして引き継がれる。町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

商家の居宅として建築された町家で、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承し、さらにその文化を民宿という形で伝える重要な建造物である。

京都の五花街の一つである先斗町に建つお茶屋の町家で、茶屋と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

81 滋賀邸

(上京区)

景065 (H25) 歴052 (H25)

商い ハレ

表屋造の伝統的な京町家の外観意匠を良好に残しており西陣界わいの景観形成に重要な建造物である。

西陣織の老舗「洛陽織物」の三代目が大正初期に建築した町家で、現在は組紐業を営む。西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

おうこく

82 櫻谷文庫 (旧木島櫻谷家)

(北区)

景066 (H25)

和館、洋館、画室ともに大正初期の近代和風建築の外観意匠を良く残しており、また、日本画家が多く居住し、衣笠絵描き村と評された周辺地域の歴史を象徴する、重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

83 俵屋旅館

(中京区)

歴053 (H25)

商い ハレ

京都で最古格とも言われる老舗旅館の町家で、格式と伝統を受継ぎながらも、更新を重ねながら営業されており、洛中における旅館の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

84 A邸

(中京区)

歴054 (H25)

進取 ハレ

数寄屋大工として知られる棟梁橋本嘉三郎の手により建てられた町家で、伝統的な中に革新的なものを取り入れる昭和初期の京都の気風と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

たにかん

85 谷寛

(北区)

景067 (H26)

上賀茂の歴史的景観を構成し、京町家の影響を強く受けた近郊農村地域における住宅の外観意匠を良く残しており、当地区における建物様式の一つとして指標性もある。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

87 鮎鶴

(LEUN 鮎鶴京都鴨川リゾート)

(下京区)

歴056 (H26)

水土緑 商い

昭和初期の大規模な料理旅館で、夏には鴨川に床を出す。現在もレストランや結婚式場として更新を重ねながら営業されており、鴨川右岸の料理旅館の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

しょうあん

88 正庵

(上京区)

景068 (H26) 歴057 (H26)

ハレ 商い

当該建造物の周囲には同時期に建築されたと思われる伝統的町家が点在して残っているが、改変されたものも多く、また数も急速に減少しつつある。その中において当該建造物は外観意匠を現在も良好に保持し、通り景観の形成に重要なものである。

かつて西陣織の生産拠点として織職や店舗が軒を連ねた地域に位置し、昭和初期に織問屋の店舗兼住宅として建てられた町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

89 藤野邸

(中京区)

景069 (H26) 歴058 (H26)

ハレ

京都の市街地であって、かつては大塀造りの住宅が数多く見られた地域に位置し、その特徴的な外観意匠を現在も良好に維持、保全しており、通り景観の形成に重要なものである。

京都御苑の南に位置し、大工棟梁三上吉兵衛により建てられた大塀造りの町家で、数寄屋の意匠が隆盛期を迎える大正から昭和初期の特色をよく残しており、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

90 三上邸

(上京区)
景070 (H26) 歴059 (H26)
ハレ 商い

上京における職住兼用の町家であって、明治後期の特徴ある外観意匠を良好に保持しており、油小路通の景観の形成に重要な建造物である。

かつて当地で竹に関する商いを営んでいた三上家の町家で、商いの場と暮らしの場を兼用する町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

92 梨木神社

(上京区)
景072 (H26)

本殿や拝殿などの伝統的な建造物と境内を取り囲む高木や京都御苑の樹木とが一体となって歴史的景観をつくり出している神社である。

明治維新にまつわる歴史など、京都の歴史的風致とも深い関連をもち、境内の染井の水は平安時代までさかのぼるいわれがあり、また秋には萩の名所として多くの市民に親しまれている神社である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

93 下御霊神社

(中京区)
景073 (H26) 歴062 (H26)
ハレ 祈り

大鳥居から正門・拝殿・本殿と一直線に配された寺町通りからの光景や、境内を囲む築地塀とそれを越えて姿を見せる大木、檜皮の屋根が周囲の町並み景観を形成している。

平安期創建以来、貴賤衆庶をとわず敬われ、京都の歴史や文化とも深い関連を持ち、現在も地域住民の協力のもと、平安期から続く剣鉾の祭りなどの祭礼を継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

94 愛染工房

(上京区)
景074 (H26) 歴063 (H26)
商い ハレ

当時の町家の外観意匠を良好に保持しており、西陣の景観の形成に重要な建物である。

西陣で帯問屋の傍ら藍染の工房を営んできた町家で、今も藍染を行う。西陣における繊維業の営みと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

95 壽ビルディング

(下京区)
景075 (H26) 歴064 (H26)
進取 ハレ

昭和初期の洋風事務所建築の外観意匠を良好に保持しており、景観の形成に重要な建物である。

四条河原町下る東側に位置する元銀行業の社屋で、京都が近代化へと大きく飛躍した頃の姿を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

96 日本聖公会京都聖三一教会

(中京区)
景076 (H26)

昭和初期の和風を基調とした木造の教会建築として外観意匠を良好に保持しており、当該地域の景観の形成に重要な建物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

98 谷村邸

(上京区)
歴065 (H26)
ハレ 商い

かつて西陣織の金襴を製造していた織屋建ての町家で、西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

99 勘菱弥

(下京区)
景078 (H27) 歴066 (H27)
ハレ 商い

京都の市街地にある大正末期から昭和初期にかけての町家の外観意匠を良好に残しており、通りの景観の形成に重要な建造物である。

呉服業を営む町家で、商いと暮らしの場を兼用する町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

100 圓通寺

(上京区)

景079 (H27) 歴067 (H27)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

101 伊藤喜商店・無量子庵

(東山区)

歴068 (H27)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

102 青木邸

(下京区)

歴069 (H27)

ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

104 柊家旅館

(中京区)

景081 (H27) 歴071 (H27)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

105 柊家別館

(中京区)

景082 (H27) 歴072 (H27)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

106 塩芳軒

(上京区)

景083 (H27) 歴073 (H27)

文化 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

107 町宿茶屋

(伏見区)

景084 (H27) 歴074 (H27)

街道 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

108 臥月亭

(左京区)

景085 (H27) 歴075 (H27)

進取 ハレ

圓通寺は、長屋門や鐘楼門、東三本木通りから堀越しに見える鐘楼門の上層部、本堂の大屋根など、主要な建造物の外観意匠を良好に残している。

尼寺であった頃は信者の修行の場としてだけでなく、地域の女性向けに裁縫・華道・茶道等の教授を行い、一般寺院になってからは檀信徒の護持とともに町内の行事や地域と繋がる活動を行うなど、地域住民に親しまれている貴重な建造物である。

松原通に面し、かつて醤油や塩などを販売していた商家の町家で、商いと暮らしの場を兼用する町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

島原で置屋兼お茶屋を営んでいた青木楼の町家で、花街・島原の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都の中心市街地にあって、敷地を囲む高塀やそれを越えて姿を見せる樹木、程良く分節された主屋の大屋根は、今なお通りからの重要な町並み景観を形成している。

文久元年から営み続ける京都を代表する老舗旅館で、格式と伝統を受継ぎ、更新を重ねながら営業されており、洛中における旅館の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都の中心市街地にあって、敷地を囲む高塀とそれを越えて姿を見せる高木、高堀越しに見える主屋の外観意匠は、今なお通りからの重要な町並み景観を形成している。

大正期の邸宅を改修した老舗旅館の別館で、本家柊家旅館の経営理念に基づいて営業されており、洛中における旅館の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

周囲には同時期に建築されたと思われる伝統的町家が点在して残っているが、改変されたものも多く、また数も急速に減少しつつある。その中でも、外観意匠を現在も良好に保持し、黒門通側の老舗和菓子屋としての佇まいや元太宮通側の高塀の連なる風情等、通り景観の形成に重要なものである。

かつて西陣織の生産拠点として織職や店舗が軒を連ねた地域に位置し、大正初期から昭和初期に掛けて和菓子屋の店舗兼住宅として建てられた町家で、菓子文化と町家の伝統を継承する重要な建造物である。

伏見城築城に当たり豊臣秀吉により開かれた道路の中でも、京町通は最も古い南北の通りである。しかし、当該建造物の周囲には伝統的町家がほとんど残っておらず、残っているものでも改変されていることが多い。その中にあって当該建造物は外観意匠を現在も良好に保持し、通り景観の形成に重要なものである。

伏見の旧街道沿いに建つ町家で、城下町・伏見の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

大正末期から昭和初期にかけて開発された谷川住宅群の1つで、外観意匠を現在も良好に保持し、通り景観の形成に重要なものである。

旧谷川住宅群は、吉田山の斜面地を活かして開発された郊外の戸建て借家群で、建築時から変わらず大文字の眺望を楽しむことができる。中廊下形住宅様式と格式ある在来和風住宅の両面を併せ持つ、大正末から昭和初期の近代和風住宅としての希少な価値を現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

109 四条町大船鉾会所

(下京区)

景086 (H27) 歴076 (H27)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

110 田中邸

(下京区)

景087 (H27)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

112 河井寛次郎記念館

(東山区)

景088 (H28) 歴078 (H28)

文化 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

113 寺田邸

(上京区)

景089 (H28) 歴079 (H28)

ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

114 智慧夢工房 二九

(南区)

景090 (H28)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

115 神光院

(北区)

景091 (H28)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

118 山中油店 米蔵他

(上京区)

歴081 (H28)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

119 熊野神社

(左京区)

景094 (H28) 歴082 (H28)

ハレ 祈り

京都の市街地にある職住兼用の町家の外観意匠を良好に残しており、通り景観の形成に重要な建造物である。今回、約140年ぶりの大船鉾の町会所の再生という意味で、町会所としての機能を担うため、内外を再生することで、更に地域の歴史、文化的な面から良好な景観の形成に寄与するものである。

職住共存の町家を祇園祭大船鉾の拠点となる町会所として改修した町家で、祇園祭宵山では2階から平成に復活した大船鉾に渡ることができる。用途を変えながらも住み継ぐ町家の伝統とハレの場である祇園祭山鉾町の町会所としての歴史を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

伝統的な町家から商業ビルやマンションなどに建て替わっている七条通沿いにおいて、町家の外観意匠を現在も良好に保持し、通り景観の形成に重要なものである。

明治から大正にかけて民藝運動に携わった陶芸家河井寛次郎が、自邸として自ら設計したものであり、独特の存在感を持つ建造物となっている。民家の美を意識した重厚な構えで、周囲の町並み景観の重要な要素となっている。

京焼の陶工、清水六兵衛から受け継いだ京式の登り窯が残り、民藝運動に深く携わった河井寛次郎が作陶を行うとともに、多くの文化人との交流が行われ、民藝運動の主要な舞台のひとつとなった。地域の伝統産業に関わる遺構を残すとともに、寛次郎の作陶活動やその精神が表現された生活空間を体感できる記念館となり、地域の伝統産業や文化の伝承において貴重な建造物である。

現在も町家が多く残る榎木町通において、明治初期の町家の外観意匠を現在も良好に保持しており、通り景観を形成する重要なものである。

かつて良質な地下水と水運から多くの酒造家が存在した一帯に位置し、明治初期にこれらの酒造家に米を卸す米屋として建てられた町家で、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都市の主要な東西の通りのひとつである九条通に面して建ち、周囲のほとんどが中高層の建物に建て替わる中、大正初期の町家の外観意匠を現代に継承する重要なものである。

賀茂川にのぞむ西賀茂の景勝地に位置し、「西賀茂の弘法さん」の愛称で地域内外の住民に広く親しまれている。築地堀越しに見える庫裏や客殿の大屋根がその背後に望み見える大文字の船形とともに西賀茂の風景に溶け込んでおり、緑豊かで静穏な境内地に入ると、庫裏及び客殿、本堂、中興堂、山門等の建造物が、伽藍の骨格を構成するとともに、境内の豊かな緑と一体となった歴史的景観を形成しており、地域景観において重要な建造物と言える。

室町期から商人が集まり、現在でも町家をよく残す下立売通において、江戸時代から油売商として営みを続ける山中油店の町家や米蔵で、商家としての営みと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

東大路丸太町の角地に位置し、境内の樹木越しに下鴨神社から移築した本殿の流れ造りの屋根が地域に親しまれる景観を形成している神社である。

創建の由緒を平安時代まで遡り、京都三熊野の最古社、熊野三山別当職を務めた聖護院の鎮守社として祀られており、今も地域に親しまれる節分祭や剣鉾の祭りである神幸祭を始めとする様々な祭事を継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

120 中村軒

(西京区)
景095 (H28)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

121 吉村家 (松雲荘)

(左京区)
景096 (H28)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

123 京都市本庁舎

(中京区)
歴084 (H28)

ハレ 進取



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

124 六孫王神社

(南区)
景097 (H29)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

125 金礼宮

(伏見区)
歴085 (H29)

水土緑 祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

126 大西常商店

(下京区)
歴086 (H29)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

127 営勘商店

(中京区)
歴087 (H29)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

128 松井邸

(中京区)
歴088 (H29)

商い ハレ

桂大橋の西詰め、桂離宮の南側に位置し、明治期より和菓子屋として親しまれ、山陰街道沿いの商家の佇まいを継承する建造物である。

松ヶ崎の地において、昭和初期に建てられた郊外型住宅である。和風を貴重としながら、洋風の意匠や機能も取り入れている。

明治から昭和にかけて京都の近代化を象徴する施設が集積していた地において、市政を司る庁舎として長年に渡り使用されており、昭和初期の庁舎建築としての歴史的意匠を現代に継承し、今なお現役の庁舎として活躍している貴重な存在である。更に市庁舎としての機能以外にも、祇園祭のくじ取り式が毎年市会議場で行われ、祇園祭の山鉾巡行や時代祭風俗行列の背景になるなど、京都を代表する祭礼において欠かせない重要な建造物である。

平安京の壬生大路と八条大路の角に位置し、清和源氏の始祖である源経基を祭神とし、鎌倉幕府、室町幕府、徳川幕府の時の権力者の支援を受けて幾度も再興するなど、千年の時を超えて歴史を受け継ぐものとして価値が高い。江戸期に建てられた本殿、拝殿、唐門、南北回廊とともに、都林泉名勝図会に描かれる神龍池の太鼓橋や多種多様な桜が境内地を彩り、祭事には華やかな祭列が練り歩くなど、市民に親しまれる景観となっており、当該地域の景観の形成に重要な建造物である。

伏見における最も古い神社としての歴史を持ち、境内の中央に樹齢千年以上ともいわれる御神木がそびえ、通りから御神木、拝殿、本殿を見渡すことができ、市民に広く親しまれている。また、地域住民の協力のもと恵比須恵恵駕籠巡業祭や春季例大祭を復活させるなど地域の文化や祭事を継承する重要な建造物である。

かつては清水寺に通じ、昭和中期まで祇園祭の山鉾巡行が行われていた松原通において昭和初期から扇屋を営む大西常商店の町家で、生業として今も続く扇屋の伝統と、手工業や問屋業などの職と住が一体となった町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

呉服問屋が多く立ち並ぶ室町通の中でも、営田屋本家や三井越後屋京本店などの呉服問屋の本店が集積する冷泉町に位置し、今も金襴絹織物の卸商としての営みを続ける営勘商店の町家である。営田屋一統としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

呉服問屋が多く立ち並ぶ室町通の中でも、営田屋本家や三井越後屋京本店などの呉服問屋の本店が集積する冷泉町に位置し、今も金襴絹織物の卸商としての営みを続ける松井家の町家である。営田屋一統としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

129 太田邸

(上京区)
歴089 (H29)

ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

131 山崎家 (旧井上家)

(右京区)
景098 (H29)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

132 横山邸

(上京区)
景099 (H29) 歴091 (H29)

ハレ 商い



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

133 金翠堂

(中京区)
歴092 (H29)

文化 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

135 奥田邸

(山科区)
景100 (H30)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

136 旧前川邸

(中京区)
景101 (H30)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

138 伽藍下鴨 (旧映画監督の家)

(左京区)
歴095 (H30)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

140 清水邸

(中京区)
歴097 (H30)

ハレ

かつて「日野屋」の屋号で張物業を営んでいた太田家の町家で、禁裏御用をつかさどる張物業としての歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

1200年の歴史をもつ大覚寺の周辺に位置し、土塀と門、茅葺の大屋根と式台玄関を構え、ある時期は大覚寺に仕え、地域では庄屋の家柄としての格式を現代に伝える屋敷として、江戸中期から明治期までの面影を残す貴重な建造物といえる。周囲に広がる田園風景の中で、漆喰塗、瓦葺きの土塀にゆったりと囲まれ、その中央に高々と茅葺の屋根を掲げる姿は江戸期につながる地域の景観を守り伝え、また、歴史や民俗を伝えるうえで重要な建築物といえる。

幕末から明治にかけて築造された西陣の町家の意匠とその後増築された表屋造りの町家の意匠を良好に継承する貴重な建造物であり、中立売通に点在する他の京町家とともに、通り景観の要となる重要な建造物である。

西陣においてかつて織屋であった町家を時代と住み手に合わせて幾度も増改築しながら今もそれぞれの時代の趣を後世に伝える。西陣の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都の旧市街地の中心に位置し、歴史と伝統を受け継ぐ老舗が並ぶ六角通にあって、明治初期、大工によって取り組まれた表現である擬洋風建築の代表例である町家である。また、雲平筆をはじめとして京都の芸術文化に欠かせない日本画材の専門店であり、画家たちのサロンとしても利用されていた貴重な建造物である。

室町末期、蓮如上人によって造営された山科本願寺の中核をなす御本寺の北西隅に位置し、中世の歴史的遺構である土塁を取り込んだ広大な敷地に、近世末期に増改築された大和棟風茅葺の主屋、長屋門、土蔵などで構成された貴重な建造物であり、中世以来の山科郷土で庄屋であった奥田家と地域の歴史を伝える景観を形成している。

旧洛中の農村地域であるかつての壬生村に位置し、江戸期に様々な公職に就き、壬生郷土としての由緒も持つ前川家が所有していた住宅で、長屋門・式台付きの玄関・書院風の座敷構成からなる郷土住宅の面影を今も残す重要な建造物である。また、文久3年に将軍上洛の警護を目的に取り立てられた浪士たち（後の新撰組）の宿舎として使用された歴史を周辺の関連する建造物とともに後世に引き継ぐ貴重な建造物である。

近世まで下鴨神社境内とされた下鴨の農村集落に隣接し、大正末期から昭和初期に開発が進んだ郊外住宅地に建てられた高塀造りの町家で、松竹の映画監督が住んでいたと言われている。町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都で活躍する近江商人が施主となり、明治期に五代目三上吉兵衛により建てられた町家で、細部に渡り数奇屋の意匠を施す。京における大工の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

141 O邸

(左京区)

歴098 (H30)

ハレ 街道



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

142 菅大臣神社

(下京区)

景103 (H30) 歴099 (H30)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

143 富美代

(東山区)

景104 (H30) 歴100 (H30)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

144 元立誠小学校

(立誠ガーデンヒューリック京都)

(中京区)

歴101 (H30)

進取



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

145 中邨邸

(下京区)

景105 (H30) 歴102 (H30)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

147 西田邸

(北区)

景107 (H30)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

148 大聖寺

(上京区)

景108 (R1) 歴114 (R1)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

149 宝鏡寺

(上京区)

景109 (R1) 歴115 (R1)

祈り

白川石の産地として知られる北白川の山中越沿いに建つ石工職人の住居である町家で、現代の間取りに替えながらも当時の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。

菅原道真公を祀る天満宮の中でも御霊地三社の一つである菅大臣神社であり、本殿は下鴨神社本殿を移築・改造して建立したもので、拝殿を八棟造として本殿とつなぐ貴重な建造物である。本殿までを街区の三方を囲む道路から参道でつなぎ、菅公に纏わるウメや臥牛像、イチョウなどが境内地を彩り、市民に親まれる景観となっており、地域の景観形成に重要な建造物である。

平安時代の太政大臣菅原道真公の誕生の地といわれ、道真公の学問所が置かれていた地に立つ天満宮で洛陽天満宮二十五社の一つである。幾度もの戦乱をくりながら、天神信仰の歴史的風致を現代に伝える重要な建造物である。

京都五花街の祇園甲部に位置し、格式高いお茶屋のひとつである富美代の建物であり、大正期におけるお茶屋建築の質の高さを示す貴重な建造物である。堂々とした外観に「富」の文字の大きな暖簾が祇園を代表するお茶屋の風格を感じさせ、歓楽街である祇園町北側の良好な景観形成に重要な建造物である。

花街のお茶屋の中でも格式の高い富美代の建物であり、花街の歴史を引き継ぐ貴重な建造物である。座敷への動線や坪庭の配置に加え、大広間の独特な空間構成などお茶屋建築の歴史を知るうえで重要な建造物である。

当該建造物は、明治2年に京都の町衆により当時の自治組織の単位である「番組（町組）」を基礎に創設された64校の小学校のひとつである下京第六番組小学校の校舎であり、昭和初期に全館が一斉に鉄筋コンクリート造になった京都では最初の小学校であるとともに、京都市内に現存する最古の鉄筋コンクリート造小学校校舎である。本館の高瀬川正面部分をそのまま活用し、高瀬川からの景観を守るとともに、地域住民の財産であり誇りでもある元立誠小学校の記憶を、本館（旧館）及びグラウンドとともに継承しながら今後も地域自治の場として地域の歴史的風致を形成し続ける貴重な建造物である。

富小路通に位置し、近世から続く大工棟梁によりつくられた質の高い町家建築であり、戦前の町家建築の質の高さを示す貴重な建造物である。大塀造りの町家に寄棟造りの応接間や庭を望む離れが続き、細部の造作や各所に設けられた庭のしつらえが、当時の暮らしを今に伝える重要な建造物である。

近江商人として成功した家人の暮らしの場として整えられた大塀造りの町家で、当時の暮らしを今に伝える重要な建造物である。暮らしの場からもてなしの場へと用途を変えながらも住み継ぐ町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する貴重な建造物である。

江戸時代後期の庄屋の屋敷構えとその後増築された洋館の意匠を良好に継承する貴重な建造物であり、古来より上賀茂神社と神光院を結ぶ沿道に配された門及び土塀とともに通り景観の要となる重要な建造物である。

京都御苑の北西、同志社大学などで賑やかな烏丸通にあって、烏丸通沿いに続く築地と表門、築地越しに見える本堂や玄関棟の大屋根、玄関車寄の銅板葺唐破風屋根が見せる堂々たるたたずまいが、赤煉瓦を基調とする同志社大学の近代建築群とともに重厚で落ち着いたある景観を形成している。

かつて足利義満の花の御所であった地に建ち、江戸末期まで24代に渡り内親王が門跡を務め、明治維新以後も公家華族が継承してきた。本堂は東京の青山御所から移築・改造した建物であり、皇室にまつわる什宝を受け継ぐなど、皇室との深い縁とその文化を信仰の場とともに伝える重要な建造物である。

14世紀後半からこの地にあり続け、山門や土塀越しに向唐破風造の車寄が付く玄関や本堂が堂々と聳え、茶道三千家と称される表千家と裏千家の宗家とともにこの地域の落ち着いたある景観を形成しており、内親王が入寺した門跡寺院ならではの特徴的な景観を有している。

近世を通じて代々皇女が入寺し、百々御所の号を賜るなど、尼門跡として栄え、後年各時代最上級の人形を公開、人形供養も行うことから人形寺として知られる。京都の歴史や皇室との深い縁とその文化を信仰の場とともに伝える重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

150 今宮神社

(北区)

景110 (R1) 歴2-3(R3)

ハレ 祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

151 小林練染工場

(上京区)

景111 (R1) 歴104 (R1)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

152 飯田邸

(中京区)

景112 (R1) 歴105 (R1)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

153 津田邸

(伏見区)

景113 (R1) 歴106 (R1)

水土緑 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

154 廣田邸

(中京区)

歴107 (R1)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

156 筈井邸

(上京区)

歴109 (R1)

文化 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

157 西川油店

(下京区)

歴110 (R1)

商い ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

158 竹内邸(旧丹定米穀店)

(中京区)

歴111 (R1)

ハレ 商い

船岡山の北方に位置し、平安京におこる疫病を鎮めるため営まれた紫野御霊会を創祀の発端とする。京の三奇祭の一つとされるやすらい祭、御霊会を起源とする今宮祭など、由緒と伝統を継承するとともに、地場産業である西陣織に関わる現代的な祭礼も営まれるなど、地域に深く根ざし、住民に広く親しまれている。本社本殿等の主要な建造物は明治期に焼失したが、幾つかの摂末社が元禄造営の歴史を伝え、焼失後に再建された建造物は、伝統的な様式を保持しつつも近代的で優美な意匠を持ち、落ち着いた境内景観を形成し、楼門や参道に建つ大鳥居は紫野を象徴する歴史的な景観として定着している。

織屋建ての形式を持つ町家の中に白絹糸の精練機械が並ぶ京都で唯一の精練工場として貴重な建造物である。通りに面して高塀が並び建つ町家の外観に精練工場の煙突がそびえる独特の景観を有しており、千両ヶ辻界わいの景観の形成に重要な建造物である。

西陣で創業100年を超える絹糸の精練工場で、角地に高塀を配し、雁行させた町家二棟の中に精練のための機械や絹糸の干し場を持つ。市内で唯一となった絹糸の精練工場の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都の中心地に位置し、呉服店として大正期に建てられたと伝わる。その後、電気工具店とし、腰壁を設け、金属製格子にガラス窓としたが、近年元の姿に復元された。商いの形態に伴い変更された外観を、当初の姿に復元した貴重な建造物であり、京都の都心部にあって町家の典型的な外観意匠を良好に保持し、地域の景観形成に重要である。

四条通の喧騒と背中合わせの位置に建つツシ2階建の町家で、商いの形態とともに建物の外観を変えながらも住み継ぐ町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

江戸末期の表屋造の外観意匠を良好に保持しており、伏見南浜界わいの良好な景観形成に重要な建造物である。大正期に増築された洋風意匠の応接間や高塀、趣向を凝らした庭など、当時の商家の暮らしぶりが伺える貴重な建造物である。

枚方津田村の領主を祖先に持つ津田家が、伏見で舟運を利用した練炭商や両替商を営んだ表屋造りの町家に洋館を備える。伏見界わいでの商いの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

三条通界わいにおいて、繊維関連の商いを営む商人の住宅として建てられた昭和初期の大塀造りの町家で、洋館や回遊式庭園を持つ。当時の商人の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

日本を代表する絵師、海北友松の子孫である所有者が文化芸術に関わる商いを営む町家で、明治後期の町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

老舗油店の所有する長屋を店舗移転に伴い改修したもので、今も油の小売りを続ける。内部には、かつて種子を圧搾して油を絞っていた頃の古い道具を展示、当時の油の製造方法を紹介する。京の油売りの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

京都の間屋が集積する地域に建つ江戸時代に当地で開業した老舗米屋の店舗兼住宅で、昭和2年に改築された表屋造りの町家である。商いの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

159 魚三樓

(伏見区)

歴112 (R1)

水土緑 ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

160 太平治家

(左京区)

歴113 (R1) 景117 (R2)

ハレ 街道



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

161 法輪寺 (だるま寺)

(上京区)

歴116 (R1)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

162 水・火天満宮

(上京区)

歴117 (R1)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

163 明覚寺

(下京区)

歴118 (R1)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

164 栗原邸

(左京区)

歴119 (R1)

ハレ 進取



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

165 天道神社

(下京区)

歴120 (R1)

ハレ 祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

166 紫明会館

(北区)

景114 (R1)

三十石船で伏見港に運ばれた新鮮な魚をさばき、藩邸や商家で腕をふるったのが始まりとされる老舗料亭魚三樓が料理をふるまう町家で、伏見界わいの商いの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

白川石の産地として発展した北白川の山中越沿いに建ち、代々石工を生業とした屋号「太平治」の住居である町家で、大火を幾度も潜り抜けた蔵が残る。石工の歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

江戸中期の創建で昭和初期に再興される。起き上がり小法師をもつて、達磨大師の教え、禅の大衆化を図ったことから、通称「だるま寺」として地域内外に広く親しまれる。境内の至る所にだるまが祀られ、人々の信仰に根付いた歴史的風致を形成する重要な建造物である。

菅原道真公の没後、醍醐天皇の勅令により造営され、天神信仰の先駆けとなったと伝わる天満宮である。京都に所在する天満宮の中でも、北野天満宮、菅大臣神社とともに御霊地三社の一つであり、洛陽天満宮二十五社の一つでもある。堀川通の拡幅に伴う移転により場所を変えながらも四季折々の祭事とともに天神信仰の歴史的風致を現代に伝える重要な建造物である。

かつて西本願寺門前に位置し、現在は東本願寺に隣接して建つ浄土真宗本願寺派の寺院で、第17代住職がシルクロードにそって残る仏教遺跡を調査した大谷探検隊に参加するなど、五百余年の永きにわたり本願寺本山を支える。現在では本堂を地域に開放するなど、地域に親しまれた信仰の場としての歴史的風致を形成する重要な建造物である。

鴨東の文教地区としての近代の宅地開発の流れを汲む土地に建つ和風住宅で、その後の改修により8つの座敷と門や玄関を備え、もてなしの場として活用されていたことが伺える。近代の郊外開発の歴史と近代和風建築としての町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する。

織田信長公によりこの地を授かるなど歴史上の人物とも深い関連を持ち、剣鉾の祭りをを行うとともに、地域住民の協力のもと国宝上杉本「洛中洛外図屏風」に描かれている伝承的行事である「天道花神事」を復活させる等、地域の文化や祭礼を継承する重要な神社である。

当時流行していたスパニッシュスタイルを取り入れた昭和初期の鉄筋コンクリート造建築の好例であり、外観、内部ともに大きな改変がなく、戦前の建物の雰囲気そのままで残す貴重な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

181 富英堂

(伏見区)

歴133 (R2)

文化 ハレ

伏見で創業100年以上の老舗和菓子屋の店舗兼工場で、店内は趣向を凝らした造作や代々伝わる押し菓子の木型が残る。菓子作りの文化と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

182 西哲機業（西村家）

(上京区)

景113 (R3) 歴134 (R2)

商い ハレ

西陣で今も織物卸商を営む西哲機業の店舗兼用住宅で、織屋建の町家と表屋造りの町家を繋ぎ、当初の形をよく残す。西陣の商いの歴史と町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

183 石井邸

(中京区)

歴135 (R2)

ハレ

田の字地区内にある表屋造りの町家で表側を店舗等に活用しながら職住一体の町家の暮らしを引き継ぐ。洛中における町家の住まい方と伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

184 服部邸

(上京区)

歴136 (R2)

商い ハレ

西陣で織物業を営む服部家が所有する大空間の機織を持つ織屋建の町家で、西陣の職人の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

おかぶん

185 岡文織物榎邸

(上京区)

景119 (R3) 歴138 (R2)

商い ハレ

西陣にある、明治末期に建てられた元綿糸商の町家で、表屋造総2階建の外観と趣向を凝らした室内や庭の意匠を良好に継承する。通り景観の要となるとともに、町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

186 片山邸

(東山区)

歴139 (R2)

商い 文化

祇園甲部の新門前に位置し、能楽や京舞井上流の伝承・普及などを担い、京都の歴史文化に深く関わる。稽古場のほか多数の能面や能装束等を収蔵する蔵が維持され、祇園の伝統芸能と格式を現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

187 今原町家

(上京区)

歴140 (R2)

ハレ 商い

和装関連業者が集まる地に建てられた昭和初期の表屋造りの町家で、組紐製作の場と暮らしの場を併せ持つ。表屋2階に外観から分らぬよう趣向を凝らした洋室や中庭を配す。当時の職人の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

188 山本読書室旧蹟

(下京区)

歴141 (R2)

文化 祈り

江戸時代に本願寺と関わりのあった山本封山の子で本草学者の山本亡羊が学問所を開塾した地に残る建物で、多くの史料を収蔵した土蔵や薬草園以来の樹木が当時の面影を残す。本草学の歴史と伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

祇園祭の大神鉾を復活させた四条町の町会所南隣にある、商人の住宅として建てられた大塀造りの町家で、祇園祭りの飾りや地蔵盆の開催の場となる。当時の商人の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

(下京区)

歴142 (R2)



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

三条通界わいで建てられた表屋造りの町家で、商いの場と暮らしの場を併せ持つ。京都の都心部にありながら贅沢な商談空間が今なお残り、当時の商人の暮らしと町家の伝統を歴史的意匠により現代に継承する重要な建造物である。

(中京区)

歴144 (R2)

ハレ



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

平安時代に源氏の邸宅があった地に建立された若宮八幡宮（現在は東山区に移転）の跡地に建つ社で、若宮町の住民が維持管理する。地域住民から愛される若宮祭りを今に継承する重要な建造物である。

(下京区)

歴145 (R2)

祈り ハレ



景觀重要	歷史風致	歷史意匠
市指定	市登録	国登録

善光寺大本願の京都別院として誓願尼の発願により創建された尼門跡寺院であり、本堂の戒壇廻りは、長野の善光寺に倣っており、当時の善光寺信仰を今に伝える重要な建造物である。

(東山区)

歴146 (R2)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

南北朝時代、後伏見天皇の皇女進子内親王により創設され、「常盤御所」の称号を持つ尼門跡寺院である。境内には、昭和大礼に饗宴場として用いられていた建物の一部を移築した常盤会館や、京都御所の旧桂宮御殿の一部を移築したと伝わる御殿を有し、皇室との深い縁とその文化を伝える重要な建造物である。

(上京区)

歴147 (R2)

祈り



景観重要	歴史風致	歴史意匠
市指定	市登録	国登録

「入江御所」と呼ばれた尼門跡寺院で、三時知恩寺の寺号を持つ。蓬萊の庭をのぞむ御殿（旧書院）は、桃園天皇女御の御殿を賜ったもので、皇室にまつわる什宝を受け継ぐなど、皇室との深い縁とその文化を伝える重要な建造物である。

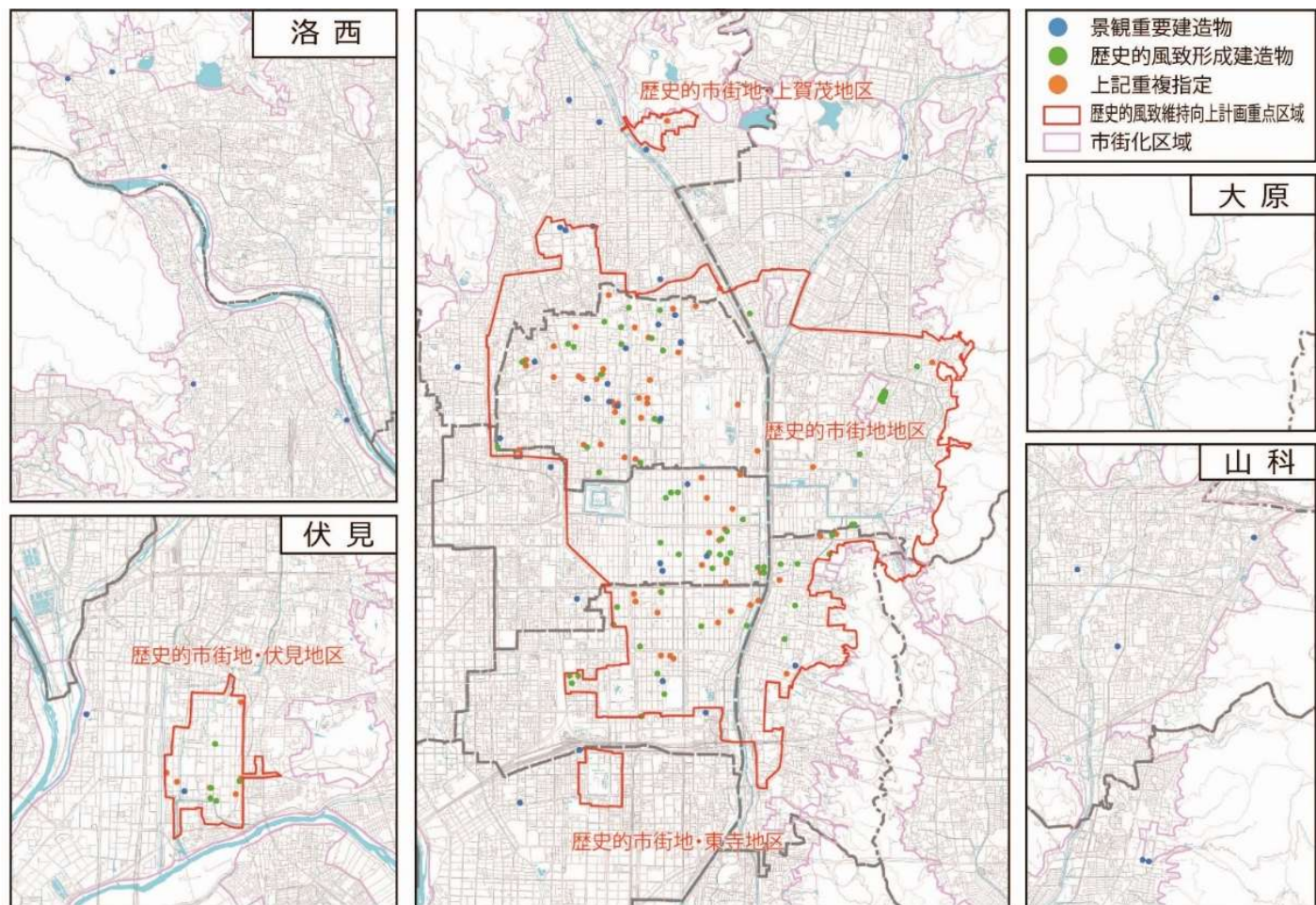
(上京区)

歴148 (R2)

祈り

◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ お 願 い ◆◆◆◆◆

- 指定建造物は個人の住宅であるものがあり、建物内部は非公開となっているものもあります。敷地や建物内部に許可なく勝手に入ることはお止めください。
- 指定建造物は静かな住宅地に建っているものもあります。道路などから建物を見学する際は、交通の妨げや近隣の迷惑にならないようご注意ください。



指定建造物分布図（重点区域は1期計画のもの）

※一覧表に掲載のない建造物もプロットしています